

No.31

平成25年8月1日

えんがる 議会だより



- 平成25年第4回町議会(定例会) P 2 ~ 4
- 平成25年第3回町議会(臨時会) P 5
- 町政を質す!! 一般質問 P 6 ~ 8
- 意見書、所管事務調査報告 P 9 ~ 11
- リレー・オピニオン、編集後記 P 12

平成25年第4回町議会（定例会）

工事請負契約締結議案6本可決！！

平成25年第4回遠軽町議会（定例会）は、6月11日に招集され、6月13日までの3日間の会期で開かれました。冒頭、佐々木町長からゴールデンウィーク中の悪天候による観光と農業への影響について報告されたほか、その他行政報告と提出案件の要旨説明が行われました。報告案件は、第三セクターの経営状況など3件、平成24年度一般会計の繰越明許費について1件の報告がありました。

審議案件は、平成24年度一般会計・特別会計補正予算の専決処分3件、表彰1件、過疎地域自立促進市町村計画変更について1件、条例等の一部改正3件、平成25年度一般会計補正予算1件、工事請負契約の締結6件、財産の取得1件について審議しました。

慎重審議の結果、提案された全ての議案を原案のとおり可決しました。

一般質問については、3人の議員が登壇し、町民生活に関する課題等について質しました。

平成25年第4回遠軽町議会（定例会）は、6月11日に招集され、6月13日までの3日間の会期で開かれました。

補 正 予 算

表 彰

◆平成25年度遠軽町一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出の総額に1億481万2千円を追加し、総額を137億2031万円としました。
(主な歳出内訳)

○企画一般経費

240万円

- ・コミュニティ助成事業
補助金（除雪機、保管車庫用）

・南町39号線通道路改良 補装工事

宝くじの社会貢献事業として実施されるもので、学田地域協議会が実施するコミュニケーション活動の備品整備に対し助成されるものです。

○防災対策事業

200万円

- ・地域防災組織育成助成事業補助金（防災備蓄倉庫、発電機ほか）

○保育所運営事業

9058万円

- ・認定こども園整備事業
補助金
- ・嘱託職員報酬 ほか



遠軽中央幼稚園

計 画 変 更

体

・湧別町中湧別南町 株式会社渡辺組 様 (奨学資金貸付資金)

◆遠軽町過疎地域自立促進市町村計画の変更

この緊急経済対策により、平成24年度補正予算で計上した工事の一部が交付金未採択になつたため平成25年度で未採択分を実施するものです。

・「4 生活環境の整備」 に『P C B 廃棄物処理 事業』を追加。

・「5 高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進
事業」を追加。

・「6 医療の確保」に
事業」を追加。

（全会一致可決）

遠軽町表彰条例により、次の方を表彰することについて、原案のとおり可決しました。

800万円

主な内容

条例制定

◆遠軽町議会基本条例について
 詳細については、別冊で配付しました『遠軽町議会基本条例（逐条解説）【保存版】』を参考ください。（全会一致可決）

条例改正

◆地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理について（全会一致可決）

◎平成24年度中央幹線排水路分水工整備工事

指名競争入札の結果、

工事請負契約

株式会社渡辺組と7612万5千円で契約を締結しました。工期は10月31日までの予定です。

◎平成24年度東2線道路防雪工事（防雪柵）
 指名競争入札の結果、（繰越）株式会社三共後藤建設と7833万円で契約を締結しました。

◎平成24年度栄行団地公営住宅建設工事（2号棟）（建築主体）（繰越）
 工期は11月20日までの予定です。予定です。

◎平成24年度南小学校大規模改修工事（建築主体）その1
 指名競争入札の結果、丸尾・茶木経常建設共同企業体と7587万3千円で契約を締結しました。

設工事（建築主体）
 指名競争入札の結果、
 株式会社管野組と5460万円で契約を締結しました。

工期は10月31日までの予定です。

◎平成25年度やまなみ団地地域優良賃貸住宅建

工事請負契約の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講じるための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理について（全会一致可決）

財産の取得

◆遠軽町議会基本条例の制定について
 （議会運営委員会提出）
 議会及び議員の活動原則等の基本事項を定め、町民の信託に応えるため、議会の最高規範として本条例を定めるものです。（全会一致可決）

議員定数条例改正案否決！

◆遠軽町議会の議員の定数を定める条例の一部改正について
 （提出者 高橋義詔議員
 他3名）

本議会における議員定数について、現行の18人を16人に削減するため、本条例の一部を改正するものです。

◎除雪トラック（10トン専用車）1台
 指名競争入札の結果、東北海道いすゞ自動車株式会社と4504万5千円で契約を締結しています。

◎平成25年度旭野一般廃棄物最終処分場中間処理施設増築工事
 指名競争入札の結果、株式会社渡辺組と9954万円で契約を締結しました。

工期は12月20日までの予定です。

◎平成24年度中央幹線排水路分水工整備工事
 指名競争入札の結果、（提出者 高橋義詔議員
 他3名）

本議会における議員定数について、現行の18人を16人に削減するため、本条例の一部を改正するものです。

・削減より議会改革を。
 ・議員一人当たりの人口比からみると議員数は多くない。
 ・地域の声が届きにくくなる。
 ・削減より議会改革を。
 ・議員一人当たりの人口比からみると議員数は多くない。
 ・地域の声が届きにくくなる。

・人口推計を考慮して、将来を見据えた議員の役割を考える。
 ・特別委員会での決定（議会だより第30号参考照）を尊重すべき。
 ・議員の責任として、現状から将来を考える。

報告

料金で提供してきました。
ラジウム岩盤浴では、実
お得なキャンペーんを実
施したり、宿泊のお客様
に夜間の利用を勧めたり
するなどしました。

きく、年間の利用実績は
2万205人で、前期と
比較し305人減となり
ました。

農産物の取扱加工実績
数量は、受託加工を除く
計画加工数量に対し 10
3・5%、587トンの
数量を確保することがで
きました。

今期も徹底した食品衛生管理をはじめ、加工技術の向上とともに経費節減を図ってきましたが、円安による燃料価格高騰などによって資材費や製造費等に影響を受けました。今後もさらにコスト削減に努めます。

たことで、経済効果も含めて今後の来場につながる良い結果を得ました。

○ハリスキング
入浴利用者は、『ペア
の日』『入浴・食事セツ
ト券』など、町内外に広
く浸透し、また、『ポイ
ントカード』によるリ
ピーターの確保や『年間
パスポート』をサービス
料金で提供してきました

年間利用実績は、3万4316人で、前期と比較し、1165人減となりましたが、リニューアル後の4か月で比較すると、1438人増となつてゐます。

株式会社
遠軽農業振興公社
第23期事業報告

ために、イベントや企画展などを多数開催し来館者促進に取り組みましたしかし、大型連休中に

今期は、春先からの天候不順のため気温が上がりらず、先行きを危惧していましたが、8月の好天で生育もおおむね回復し

充当した結果、純資産額で68万円増の823万円（前期755万円）となり、わずかではあります
が債務超過の解消が図られました。

しかし、全日本スキー連盟公認の「遠軽カップアルペン大会」が、今期から国際スキー連盟公認の「北海道スキー選手権大会」にランクアップし

経常利益は△1055万円（前期△512万円）と增收減益となりました
○年間集客数

扱いとなり、加工業に苦慮しました。

委託加工料を除く売上高は、1億6048万円（前期1億5714万円）経常利益では、109万円（前期429万円）と増収減益となりました。が、一般管理費は経費の節減に努めた結果、

株式会社
フォーレストパーク
第18期事業報告

株式会社
フォーレストパーク
第18期事業報告

**平成25年第3回町議会（臨時会）
地方税の改正に伴う条例改正及び補正予算可決**

平成25年5月開催の第3回町議会（臨時会）は10日に開催され、1日の会期で開かれました。

審議案件は、固定資産評価員の選任1件、条例の一部改正3件、財産の取得1件、一般会計補正

予算がそれぞれ提出され、審議の結果、いずれも原案のとおり全会一致で可決しました。

人事

◆固定資産評価員の選任
職員の人事異動に伴い、

平成25年度遠軽町一般会計補正予算（第1号）は、8949万8千円を追加し、136億1549万8千円としました。

補正予算

（全会一致可決）

財産の取得

◎除雪トラック（10トンダンプ）1台

指名競争入札の結果、株式会社佐渡自動車整備工場と3882万9千円で契約を締結しています。



条例改正

固定資産評価員として会津靖朗氏（丸瀬布新町）の選任に同意しました。

民生常任委員会では、6月19日と7月8日に町内の所管施設調査を実施しました。

6月19日
○遠軽地域
・清掃センター
・汚泥脱水機の故障箇所について
・旭野一般廃棄物最終処分場中間処理施設

7月8日

・瀬戸瀬保育所
・南保育所
・西保育所
・東保育所
・母子通園センター

◆遠軽町税条例
◆遠軽町都市計画条例
◆遠軽町国民健康保険税
条例

地方税法の一部改正に伴い条例の一部を改正するものです。

- ・汚泥脱水機の故障箇所について
- ・旭野一般廃棄物最終処分場中間処理施設
- ・PCB（安定器）廃棄物保管状況について
- ・白滝保育所
- ・白滝ふれあいセンター
- ・生田原保育所
- ・白滝地域

民生常任委員会 所管施設調査実施

6月19日、7月8日

議会を傍聴してみませんか？

定例会は、年4回（3月・6月・9月・12月）開かれ、臨時会は必要に応じて隨時開かれます。議会を傍聴される際は、規則がありますので規則を守って傍聴することをお願いします。

町政を質す!!

一般質問
阿部 君枝 議員



問

風疹予防接種の公費助成を！

答

早急に実施したい

情報管財課長 ホーム
ページなどでの周知方法
も検討したいと思います。

問 風疹は「三日ばし
か」とも呼ばれ、妊娠初
期の女性が感染すると、
おなかの赤ちゃんに障が
いが残る可能性があります。

性が中心ですが、この世
代の男性は、子どもの時
の定期ワクチン接種が女
子中学生に限定されてい
たことなどから、多くの
人が接種していませんで
した。

再問 予防接種の一部公
費助成はいつ頃から考
えていますか。

問 公共施設において障
がい者、ハートフル専用
の駐車スペースを設置す
べきと考えます。

再問 福祉センターは、
介助がなければ使用でき
ないスロープで、専用駐
車場もない状況ですが、
改善は考えていますか。

白内障・緑内障、心疾
患、難聴のほか、精神や
運動機能の発達の遅れな
どがあり「先天性風疹症
候群」の赤ちゃんが生ま
れる可能性が指摘されて
います。

町長 今年の流行の情報
をと考え、緊急的な措置と
の接種を呼びかけており、
社会全体で感染の予防を
進めることができるのは課題
です。

町長 早急に実施するよ
うに頑張っていきます。

町長 公共施設のバリア
フリーと共に駐車場の整
備も必要な状況であると
考へています。整備が可
能な施設から対応してい
きます。

住民生活課長 具体的な
例は聞いていませんが、
現場とも十分な話をさせ
ていただき検討します。

厚生労働省はワクチン
を接種を呼びかけており、
して、妊婦の夫などに対
するワクチン接種の一部
助成の検討を始めていま
す。

町長 以前、本庁舎のリ
アフリーについて、本町
として取り組んでおり、
今後も進めていきます。

今回の流行は、感染者
の大半が20歳～40歳の男
です。

町長 今年の流行の情報
を考え、緊急的な措置と
の接種を呼びかけており、
社会全体で感染の予防を
進めることができるのは課題
です。



再問 以前、本庁舎のリ
アフリーについて、本町
として取り組んでおり、
今後も進めていきます。

町長 ハートフル、バリア
フリーについて、本町
として取り組んでおり、
今後も進めていきます。

の周知や使用できなかつ
た方への配慮が必要であ
ると思います。

町政を質す!! ただ

町長 遊具の老朽化に伴
い、危険な遊具を撤去後



例えば、おもしろ自転車の舗装路を使用できる遊具や、現在1箇所しかないブランコやすべり台を数箇所設置するなどの考えはありませんか。

小さなお子さんが退屈することなく、公園で遊ばせられる環境作りをしていただきたい。

方が訪れて、
つています。

太陽の丘公園は、コスモス開花時期だけでなく、5月から6月にかけても小さな子ども連れの親子や、多くの町内外の

高橋眞千子 議員



問 遊具設置の考え方 答 新年度から整備する

は新しく導入していませ

再問 小さな子どもやお

商工觀光課長

教育長 町内の小中学校
は、白滝小学校を除いた

遊具の種類、設置場所
整備期間などを速やかに
検討し、新年度から整備
します。

年寄り、体の不自由な方たちの休憩室として「文化研修館」など、畳の部屋がある施設の開放とトイレを使用できるようにすることはできませんか

効活用という
料を無料にし
きというご意
は、検討しま
また、お子
レなどで利用

全ての小中学校が避難所として指定されていますが、独自に飲料水や食料毛布などの備蓄はしていません。

商工観光課長 遊具は、皆さんに利用していくだけるように選定します。

町長
「文化研修館」は、

に、管理上可
も検討します

の問題でもありますので、
関係部局と十分連携を図
り、子どもたちの安全確

おもしろ自転車の通路
はコースの一部が壊れて
いて、整備して使用する
には事業費など、全体を
含め検討します。

ので、受益者負担の公平性の問題も生じてきます。また、施設の管理面や構造上の問題もあり、一般開放にはなじまない施

答 学校での備蓄は

保に努めます。

A black and white photograph showing a playground structure. On the left is a metal slide. To its right is a wooden climbing frame with horizontal rungs and a vertical ladder. The ground is covered in grass and fallen leaves.

設と考えます。隣接する「サンヒルハウス」は無料施設ですので、こちらを利用していくだけます

問 町内の冬
て、暴風雪に
や猛吹雪によ
えられる中、

復を待つことも考えます
その際に必要な物資は、
最も至近距離に備蓄して
あるところから届けます

町政を質す!! ただ

一般質問



① 障がい者や高齢者の社会参加を進める上でも、
障がい者は通院のみ、高齢者は通院・買い物など
となつていても、各種集会や地域の行事への参加も可能に
広げて、各々の行動範囲を広げ、地域社会に貢献する
べきと考えます。

② 町に近い人は、ハイ

町長 重度身体障がい者のハイヤー券助成は、遠軽町全体の事業の取り組みとして月4枚発行しており、町全体に共通した制度です。

用がありません。このようにそれぞれの地域での過去の経緯、合併当時の協議事項として整理されたものですから拡大について、見直す考えはありません。

問合併前の白滝村では、ハイヤー券が月8枚ありました。75歳以上の高齢者には、通院と買い物目的の使用で交付されていますが、住民からはもつと使いやすい制度にしてほしいと、いう声があります。

できますが、町の中心部から遠い人は1回に2500円かかる人もいます。同じ町に住んでいながら遠い人の負担が大きくて老人会などの行事にも参加しない、できないという人がいます。そのような人に配慮した制度にすべきと考えます。

した取り組みであり、75歳以上の単身者世帯、夫婦とも75歳以上の世帯です。それらの方に対し、町民税非課税世帯が対象です。基本料金の助成券を月6枚発行しているもので、制度がありますが、生田ほかに丸瀬布地域も別のす。高齢者への助成券は

がい者の助成事業との整合性もあつて基本料金の助成に止めておきたいと思ひます。

町長 現在のスクールバスは、平成13年度購入の26人乗りです。

バスは、学校全体の行事や社会行事と合わせて福祉バスとしても利用しています。福祉バスの最大乗客数は、今年3月8日に17人乗車しており、今後バスの更新時期の乗客数に見合う車両を検討したいと思います。

問 白滝地域のハイヤー券の使用範囲を広げるべき

問 白滝地域のバスは大き過ぎないか

意見書可決

可決

—国・道への要望意見書案4件を提出—

議員提案により意見書案が提出され、いずれも可決し関係省庁に意見書を送付しました。

(提出先) 衆議院議長、
参議院議長、内閣総理大臣、
国土交通大臣

2 「30人以下学級」の
早期実現に向けて、小学校
1年生から中学校3年

を求める意見書
(提出者 阿部君枝議員)
他4名

札幌航空交通管制部の存続・充実を求める意見書
(提出者 高橋義詔議員)
他4名)

義務教育費国庫負担制度の堅持・負担率2分の1への復元、「30人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善、就学保障充実など

また、教職員定数の改善及び必要な予算の確保を図ること。

道教委が平成18年に策定した「新たな高校教育に関する指針」は、広大な北海道の実情にそぐわないことから、抜本的

1 北海道での航空行政
の枠組みを堅持し、札幌
航空交通管制部を存続す
ること。
2 広大な北海道の航空
行政を充実させるために
札幌航空交通管制部を充
実すること。

と平成22年度国家予算編成における教育予算確保・拡充を求める意見書（提出者 山田和夫議員他4名）

地域の特性にあつた教育環境を整備し、充実した教育活動を推進するため教頭・養護教諭・事務職員の全校配置を実現すること。

2 「公立高校配置計画」
は、子ども、保護者、地
元住民など、切実な意見
に真摯に耳を傾け、一方
的な策定は行わないこと
3 教育の機会均等と子
どもの学習権を保障する
ため、「遠距離通学費等

○航空交通管制とは

「航空機相互間及び走行地域における航空機と障害物との間の衝突予防並びに航空交通の秩序ある流れを維持促進するための業務」をいいます。管制業務を行う資格を有し、かつ当該業務に従事している者を航空管制官といいます。

日本では管轄する空域（福岡飛行情報区）を大きく5つに分割し、札幌、東京、福岡、那覇の各航空交通管制部と航空空交通管理センターで航空路管制業務を行っています。

衆議院議長、參議院議長
總務大臣、財務大臣、文
部科學大臣

ら高校への通学も制度の対象とすること。

質問、答弁は要約されています。

議会だよりでは質問・答弁の内容を議員それぞれが要約したものを載せております。質問・答弁の全文については、スペースの都合から載せることができませんが、詳しくお知りになりたい方は遠軽町議会事務局へお問い合わせください。

なお、全文記載の会議録ができるまで、当該議会が終了、約3か月かかります。

道教委「新たな高校教育に関する指針」の見直しと地域や子どもの実態に応じた高校づくりの実現を求める意見書

（提出者 阿部君枝議員
他4名）

1 道教委が平成18年に策定した「新たな高校教育に関する指針」は、広大な北海道の実情にそぐわないことから、抜本的見直しを行うこと。

2 「公立高校配置計画」は、子ども、保護者、地元住民など、切実な意見に真摯に耳を傾け、一方的な策定は行わないこと。

3 教育の機会均等と子どもの学習権を保障するため、「遠距離通学費等補助制度」の5年間の年限を撤廃するとともに、対象とすること。

4 障がいの有無にかかわらず、希望するすべての子どもが地元の高校へ通うとのできる後期中等教育を保障するための金付をするすること。

(提出先) 北海道教育委員会委員長、北海道教育委員会教育長、北海道知事、北海道議會議長

地方財政の充実・強化を求める意見書

(提出者) 杉本信一議員
他4名

1 地方財政計画、地方交付税総額の決定に当たっては、国と地方で十分に協議し決定すること。

2 社会保障分野の人材確保、農林水産業の再興、環境対策などの財政需要を的確に把握し、財政需要に見合う地方財政計画、地方交付税総額の拡大をはかること。

3 被災自治体の復興に要する地方負担分は、別枠として予算を確保すること。特に、被災自治体の深刻な人材確保に対応するため、震災復興特別交付税を確保すること。

4 地方公務員給与費の臨時給与削減により減額した給与関係経費等に係る財源は、完全に復元すること。また、地方公務員給与費に係る地方財政

- 4月17日（第9回）
 - 4月1日付事務分掌異動
 - 5月議会（臨時会）提出議案・補正予算
 - 人材育成基本方針

総務・文教

各常任委員会等で調査、協議、実施等された日にについて掲載しています。

- 5月27日（第10回）
 - 6月議会（定例会）提出議案・補正予算
 - 財産管理
 - 平成24年度一般会計繰越明許費
 - 専決処分の承認
 - 過疎地域自立促進市町村計画の変更
 - 旧釧路地方法務局遠軽法務総合庁舎の用途
 - （土地・建物）
 - まちづくり自治基本条例

所管事務調査報告

平成25年4月～6月

計画、地方交付税の算定の方を検討すること。

5 地域の防災・減災に係る必要な財源は通常の予算とは別枠で確保するとともに、地方交付税などの特定財源の振替は厳格に慎むこと。

6 地方交付税の財源保

障機能、財政調整機能の強化をはかり、小規模自治体に配慮した段階補正の強化、市町村合併の算定特例の終了を踏まえた新たな財政需要を把握し、対策を講じること。

(提出先) 内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、内閣府特命担当大臣（経済財政政策）、経済産業大臣

7月10日、東小学校の3年生54人が、議会を訪れました。

この日は、第3学年

社会科見学「まちたんけん」の一環で、遠軽町内の施設見学をして遠軽の様子を知るとい

う目的で行われました。

議会のほかにも、ス

ポーツ公園、木楽館、

げんき21を訪問し、い

ろいろ学習していまし

た。

議会では、事務局職員が対応し、子どもたちの質問に答えたり議場を見てもらったりして、研修のお手伝いをしました。



東小学校児童 議会訪問

民 生

- 4月24日（第8回）
 - 4月1日付事務分掌異動
 - 5月議会（臨時会）提出議案・補正予算
 - 人材育成基本方針
 - まちづくり自治基本条例
 - やまなみ団地住宅概要

- ・ 福祉灯油購入費助成事業の実施状況
 - ・ 平成24年度人口動態
 - ・ 町税条例等の一部改正
 - ・ 平成24年度児童館の利用状況
 - ・ 平成25年度保育所入所状況
 - ・ 丸瀬布保育所ボイラーレンタル
 - ・ 正予算
 - ・ 5月議会（臨時会）補正予算
 - 5月31日（第9回）
 - ・ 地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例整理
 - ・ 平成24年度一般会計補正予算（専決処分）
 - ・ 平成24年度特別会計補正予算（専決処分）
 - ・ 分場中間処理施設
 - ・ 認定こども園にかかる財政支援
 - ・ 旧鉄路地方法務局遠軽法務総合庁舎の用途（土地・建物）
 - ・ やまなみ団地住宅概要
 - ・ 夏季軽装の励行期間（6月～9月）

經濟

5 月 22 日	5 月 16 日	5 月 8 日	4 月 25 日
(第 13 回)	(第 12 回)	(第 10 回)	(第 9 回)

- 4月23日(第9回)
・4月1日付事務分掌異動



議會運營

・議会だより第31号の編集、校正

- 4月25日（第9回）
5月8日（第10回）
5月16日（第12回）
5月22日（第13回）



広報

4月12日（第9回）
・議会だより第30号の編集、校正

- 平成25年度観光、物産
イベント等予定
やまなみ団地住宅概要
平成24年度一般会計補
正予算（専決処分）
6月議会（定例会） 提
出議案・補正予算
旧釧路地方法務局遠軽
法務総合庁舎の用途
（土地・建物）



遠軽町議会ホームページをご覧ください。

- | | |
|---------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 遠軽町議会議員名簿 | <input type="checkbox"/> 請願・陳情の手続き |
| <input type="checkbox"/> 常任委員会等名簿 | <input type="checkbox"/> 意見書・決議 |
| <input type="checkbox"/> 遠軽町議会議員会派別名簿 | <input type="checkbox"/> 常任委員会所管事務調査 |
| <input type="checkbox"/> えんがる議会だより | <input type="checkbox"/> 常任委員会所管事務調査報告 |
| <input type="checkbox"/> 一般質問通告（概要） | <input type="checkbox"/> 議会改革のながれ |

◎遠軽町議会ホームページアドレス <http://engaru.jp/gikai>

北海道町村議会議員研修会

6月27日～28日

リレー・オピニオン3 (広報委員が4回シリーズで発言します。)



全道の町村議員を対象とした議員研修会が札幌コンベンションセンターで開催され、町議会から15人が参加してきました。

今後の政局・政治展望

伊藤 悩夫 氏

伊藤氏は、テレビ等の座談会に出ている方で、今参議院選挙の行方と安倍政権について話され、民主党が真剣に総括していないことから、国民は安定を望み、安倍総理独自の予言を含めた将来予想により、期待感を維持していることです。

一方、野党が非力だと指摘したほか、歴代の首相などの性格と裏話を面白く披露。お酒を二升も飲む大臣、政治目標もなく大臣になつた人、真面目過ぎて面白くない人たちなど、いろいろなエピソードを交えて話されました。

『議会改革に期待する』 慶應義塾大学 法学部 教授 片山 善博 氏

日常、身近なところで“変だなあ”と思ったことを改革するため、チエックをし、現場の人たちから意見を聞くことが大事であると話され、議案が100%通れば議会はいらないと指摘。

また、条例改正の失敗例や成功例を話され、納得したところでした。

子宮頸がん予防ワクチンが4月から定期接種になつたものの、今度は「接種は積極的にお勧めしない」とされました。厚労省発表当日のNHKの報道では、四肢の痛みとけいれんを起こしている女子の映像が流れ、接種をためらうには十分なインパクトがありました。現在、日本では800万回の接種で数人の慢性疼痛患者が出ていますが、これはCRPS(複合性局所疼痛症候群)といつて、子宮頸がん予防ワクチンに由来するものではなく、針で刺される医療行為に伴つて起るものと推測されています。

子宮頸がんは若くして発症する人が多く、20～30代に発症するがんの中で第一位です。毎年、母親を亡くされる子ども、娘を失つてしまう両親が3500人もいるということです。また、治療がうまくいっても出産できなくなりる場合もあります。つまり、ワクチンを接種しないで受ける国民の不利益のほうがはるかに大きいと考えられています。

WHO(世界保健機関)の声明では、真にワクチンに起因する副作用の可能性は低く、「引き続全」と判断しております。日本からの報告もレポートに挙げた上で、接種を推奨しています。

専門家不在のまま、医学的根拠や妥当性を欠く決定をする厚労省、ワクチン行政に対するビジョンを示さない政治家が国民の未来を暗くしてしまいます。そして正確な情報を伝えないメディアの責任も大きいと思います。

私たちちは、子宮頸がん予防ワクチン接種の歩みを止めてはいけないのであります。正確な情報を伝え、きちんと判断して私たちの子どもを守るべきです。

編集後記

大雪山ウルトラトレイル

「ウルトラトレイル」とは、マラソンと登山の要素を併せ持つ競技で、欧米では人気の高いアウトドアスポーツです。

北海道初のウルトラトレイルがついにこの地で開催され、大雪山系を中心2日間・24時間かけて110kmを走破しました。

6月の議会では、議会

基本条例制定という大き

な山場を乗り越え、遠軽町議会議員としてしっかりと土台作りをしました。

6月の議会では、議会

基本条例制定という大き

な山場を乗り越え、遠軽町議会議員としてしっかりと土台作りをしましたが、これから先も、

険しく高い山が目前に立

ちはかかることでしょう。

しかしながら、町民の信託に応えられるよう

一歩一歩前進します。

廣報特別委員会

委員長 荒井

副委員長 奥田

委員 阿部

委員 今村

委員 篠明

委員 則康